



【野菜づくり情報】

KASSAI

喝采

ニンジン栽培情報

No.1

JA福井県【福井基幹支店】

1. ニンジンとは

ニンジンは緑黄色野菜の代表で、栄養価が高く、カロテン、ビタミンB2やC、葉酸、食物繊維などが多く含まれます。カロテンには抗酸化作用があり、体内で一部はビタミンAに変わります。生食や炒め料理、煮込み料理、漬物など、あらゆる料理で重宝される野菜で、彩りの点でも欠かせません。晩抽性と耐暑性にすぐれ春・夏兼用で土質を選ばず幅広い作型に適した向陽二号が一般的です。

《作型》



福井の一般的な播種適期。早まきは避けましょう

2. 栽培のポイント

冷涼な気候を好みますが、幼苗時は高温にも比較的強いので、家庭菜園では夏まきで秋～冬に収穫する栽培が最も適しています。本葉3～5枚で10℃以下の低温にあうと花芽ができ、春になるとトウ立ちするので、秋まきや春まきでの早まきは避けましょう。ニンジンのタネは吸水力が弱く、タネまき後に土が乾くと極端に発芽が悪くなるので、発芽まで乾燥させないように。土が酸性ほど生育が遅れるのでしっかりと苦土石灰をまきます。

3. 畑の準備

タネまき予定の2週間以上前に完熟堆肥、苦土石灰および元肥を散布してから深さ20～25cmをよく耕します。堆肥はよく腐熟していても、塊はほぐして散布します。耕す時、石などは取り除き、ゴロ土はできるだけ砕くか取り除きます。畝を作る前にもう一度耕すとよいでしょう。

《施肥》

※施肥量はすべて1平方メートル当たり

1. 完熟堆肥を約3kg入れる (固まりはほぐす)
2. 苦土石灰を2握り (約100g) 入れる
3. 化成肥料を2握り (約100g) 入れる
4. 過リン酸石灰を軽く1握り (約30g) 入れる
5. よく耕す

石などを取り除き、ごろ土は砕くか取り除く

《畝たて》

※間引き作業を考えて2条までとする

1条の場合 2条の場合

畝作りの前にもう一度耕すとよい

クワや板などで整形する

土が乾燥している時
↓
水やりする
↓
べとつかないようにしてから…
↓
まき溝作り
※土が湿っている時は水やりをせずに溝を作る

適期播種を心がけましょう。今回の喝采は『西部支店』が担当しました。